



市議会だより にほんまつ

第18号
3月定例会号

平成22年5月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel 0243-55-5143/Fax 0243-22-6047



「霞ヶ城公園」

「合戦場のしだれ桜」



「愛蔵寺の護摩ザクラ」

「円東寺のしだれ桜」



「岳温泉桜坂」



平成22年度当初予算

一般会計238億1,551万9千円 前年比4.5%減

定例会概要 2

国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」ほか

臨時会概要 3

行政課題の解決に向けて 各常任委員会審査報告

委員会報告 4

市の明日を考える 一般質問に16人が登壇

一般質問 8

議会の動き・意見書・平成21年度政務調査費決算一覧表・編集後記

お知らせ 13

一般会計

3月定例会

238億1,551万9千円を可決



平成22年3月定例会は、3月2日から23日までの22日間を会期として開催されました。

本定例会の議案は、平成22年度一般会計予算など市長提出議案48件、議員提出議案の意見書3件が、慎重に審議され、原案の通り可決されました。

平成22年度予算は、東和小学校や岩代文化体育施設整備事業、二本松駅前広場整備事業などの大型プロジェクトがほぼ終了したので、前年度比4.5%減となっています。

また、子ども手当の創設、福祉・医療・介護関係経費の増大、小・中学校の耐震化が前倒しで実施される予算です。

地域に根ざした事業としては、コミュニティバス運行や生活路線バスの運行確保対策事業が盛り込まれ、今年は、市議選、参議院選、知事選が行われるため予算の計上がなされています。

地域における行政事務の円滑な推進として自治振興費の予算も盛り込まれ、消防費では、地域の安全安心を確保するための消防施設等の充実を図る予算もとられています。

なお、今定例会における一般質問には16名の議員が登壇し市政全般について質問をいたしました。

また、二本松市人権擁護委員の齋藤允さんと佐藤新一さんが任期満了になることに伴い、引き続き両氏を選任することに同意しました。

◇ 平成22年度 当初予算

(単位：千円)

会 計 名		22年度当初	21年度当初	比較	伸び率(%)
一 般		23,815,519	24,944,812	△1,129,293	△4.5
国民健康保	事 業	6,223,458	5,833,358	390,100	6.7
	直営診療施設	117,541	141,851	△24,310	△17.1
老 人 保 健		2,508	6,159	△3,651	△59.3
後 期 高 齢 者 医 療		497,043	521,564	△24,521	△4.7
介護保険	保 險 事 業	4,152,859	4,066,748	86,111	2.1
	介護サービス事業	19,421	20,062	△641	△3.2
土 地 取 得		352,174	14,639	337,535	2305.7
公 設 地 方 卸 売 市 場		7,366	7,937	△571	△7.2
工 業 団 地 造 成 事 業		24,748	36,244	△11,496	△31.7
佐勢ノ宮住宅団地造成事業		51,744	52,582	△838	△1.6
安 達 簡 易 水 道 事 業		30,191	26,448	3,743	14.2
岩 代 簡 易 水 道 事 業		151,350	114,306	37,044	32.4
東 和 簡 易 水 道 事 業		246,022	424,524	△178,502	△42.0
安 達 下 水 道 事 業		288,738	262,775	25,963	9.9
岩 代 下 水 道 事 業		69,111	118,240	△49,129	△41.6
茂 原 財 産 区		1,695	1,362	333	24.4
田 沢 財 産 区		283	345	△62	△18.0
石 平 財 産 区		3,295	3,576	△281	△7.9
針 道 財 産 区		120	130	△10	△7.7
計		36,055,186	36,597,662	△542,476	△1.5

◇ 企業会計

(単位：千円)

会 計 名	22年度当初				21年度当初			
	収益的		資本的		収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
工業団地造成事業	348,136	348,133	0	0	473,765	455,590	0	0
宅 地 造 成 事 業	1	0	0	0	1	0	0	0
水 道 事 業	914,199	839,569	249,435	575,653	941,212	880,163	183,984	511,364
下 水 道 事 業	635,228	629,093	297,824	523,589	627,115	620,672	327,967	539,467
計	1,897,564	1,816,795	547,259	1,099,242	2,042,093	1,956,425	511,951	1,050,831

会 計 名	比 較				伸 び 率 (%)			
	収益的		資本的		収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
工業団地造成事業	△125,629	△107,457	0	0	△26.5	△23.6	0.0	0.0
宅 地 造 成 事 業	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
水 道 事 業	△27,013	△40,594	65,451	64,289	△2.9	△4.6	35.6	12.6
下 水 道 事 業	8,113	8,421	△30,143	△15,878	1.3	1.4	△9.2	△2.9
計	△144,529	△139,630	35,308	48,411	△7.1	△7.1	6.9	4.6

上程議案

- 二本松市道路附属物駐車場条例制定について
- 二本松市岩代総合文化ホール条例制定について
- 二本松市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市小学生医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例制定について
- 二本松市奨学資金給与条例を廃止する条例制定について
- 二本松市道の駅「安達」智恵子の里の指定管理者の指定について
- 二本松市和紙伝承館の指定管理者の指定について
- 二本松市名目津温泉の指定管理者の指定について
- 市道路線の認定及び廃止について
- 平成21年度二本松市一般会計補正予算
- 平成21年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市介護保険特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市土地取得特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市工業団地造成事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市安達簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算
- 平成21年度二本松市水道事業会計補正予算
- 平成21年度二本松市下水道事業会計補正予算
- 平成22年度二本松市一般会計予算
- 平成22年度二本松市国民健康保険特別会計予算
- 平成22年度二本松市老人保健特別会計予算
- 平成22年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成22年度二本松市介護保険特別会計予算
- 平成22年度二本松市土地取得特別会計予算
- 平成22年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算
- 平成22年度二本松市工業団地造成事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市安達簡易水道事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市東和簡易水道事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市安達下水道事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市岩代下水道事業特別会計予算
- 平成22年度二本松市茂原財産区特別会計予算
- 平成22年度二本松市田沢財産区特別会計予算
- 平成22年度二本松市石平財産区特別会計予算
- 平成22年度二本松市針道財産区特別会計予算
- 平成22年度二本松市工業団地造成事業会計予算
- 平成22年度二本松市宅地造成事業会計予算
- 平成22年度二本松市水道事業会計予算
- 平成22年度二本松市下水道事業会計予算
- 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出について
- 永住外国人の地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について
- 選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正案に反対する意見書の提出について

○ 市長提出議案
● 議員提出議案

平成22年 第1回 2月臨時会

2月臨時会が2月12日開催されました。提出された議案1件は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業の一般会計補正予算3億3千736万円です。主な事業は以下のとおりです。

道路橋、照明、側溝、林道整備事業	1億9,007万円
文化センター管理運営経費	2,314万円
本庁舎管理経費(外部丸柱・パネル修繕)	900万円
市内地域住民センター修繕費	707万円
観光立市景観・施設保全事業	2,750万円
市内地域体育施設・図書館管理運営経費	2,686万円
市内地域給食センター修繕経費	4,550万円
保健センター・保育所修繕	190万円

総務常任委員会 審査報告

3月8日に付託された各議案は、3月11日から18日の6日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、浅川吉寿委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 道の駅「安達」の年間来客者数はどのくらいなのか。

答 年間約120万人程度である。

問 過疎地域自立促進特別措置法の期間延長に伴い、過疎地域自立促進計画の策定をすると記載してあるが、具体的にどのような内容なのか。

答 平成21年度で期限が切れる過疎地域自立促進特別措置法について、更に平成27年度まで6年間延長するものであり、道路や下水処理施設といった従来のインフラ整備だけではなく、認定こども園、太陽光発電、生活交通の確保などソフト事業も新たに加わることとなる。過疎地域自立促進計画を策定することにより、過疎債による財政措置が可能となる。

問 定員適正化計画により職員数が減少していく中において、市民サービスの低下を招くようなことはないのか。

答 社会情勢や行政需要の変化に的確に対応するため、機能的な組織管理と行財政改革を行い、指定管理者制度等の導入により民間委託が可能なものは委託をすることとし、行政運営の効率化を図り、更なる住民サービスの向上に努める。

問 行政事務改善経費の中で市民満足度調査を実施すると説明があったが、具体的にどのような内容なのか。

答 行政評価の指標とするために実施するものであり、平成15年に合併協議会において実施した市民満足度調査が基準となる。長期総合計画の目標数値の補完作業として新たな設問も用意し、市が実施した事業により、市民満足度がどのように変化しているのかを調査するものである。子育てや高齢施策に対するアンケートについては、世代間の抽出を行い、全体で3,000件を抽出し実施する。



机上審査の様子

3月定例会で総務常任委員会に付託された議案等

二本松市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について
二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
二本松市行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定について
二本松市道の駅「安達」 智恵子の里の指定管理者の指定について
二本松市和紙伝承館の指定管理者の指定について
二本松市名目津温泉の指定管理者の指定について
平成21年度二本松市一般会計補正予算
平成21年度二本松市土地取得特別会計補正予算
平成22年度二本松市一般会計予算
平成22年度二本松市土地取得特別会計予算
平成22年度二本松市茂原財産区特別会計予算
平成22年度二本松市田沢財産区特別会計予算
平成22年度二本松市石平財産区特別会計予算
平成22年度二本松市針道財産区特別会計予算

市民産業常任委員会 審査報告

3月8日に付託された各議案は、3月11日から18日の5日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、野地久夫委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 市民交流センター運営強化事業委託料について、ふるさと雇用再生特別基金を活用して生涯学習、子育て支援事業の人件費にあてるとのことだが、制度の趣旨から、当初から予定されていた事業ではなく別な事業に活用すべきではなかったか。基金がなくなる3年後はどうするのか。

答 市民交流センター計画作成時にこの制度があったため、生涯学習分野の企画強化とファミリーサポートセンターの子育て支援サービスに活用することでセンターの運営を強化してコスト軽減を図るためにこのような対応をとった。現在のままでは3年後の交流センター管理運営に支障が出る恐れがあるので、指定管理者とファミリーサポートセンターを運営するNPO法人に更なる利用促進と収入向上の取り組みをお願いしている。



特用林産物活用施設等整備事業の現地調査の様子

問 自殺対策について、どのような事業を行うのか。

答 県自殺対策緊急強化基金事業を活用して、精神科医による研修会を4地域で開催する。うつ病などの悩みのある方が早期に病気を自覚して、専門医を受診できるようにする。

問 10月から国民健康保険証をカード化することについてメリットは何か。

答 基幹システムの変更に伴い国民健康保険証のカード化が可能となった。メリットとして、保険証が個人毎に発行されるので、世帯内の被保険者がそれぞれ別の医療機関を同時に受診することが可能になる。



県営中山間地域総合整備事業の現地調査の様子

3月定例会で市民産業常任委員会に付託された議案等

二本松市小学生医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
二本松市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例制定について
二本松市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例制定について
平成21年度二本松市一般会計補正予算
平成21年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算
平成21年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算
平成21年度二本松市工業団地造成事業特別会計補正予算
平成22年度二本松市一般会計予算
平成22年度二本松市国民健康保険特別会計予算
平成22年度二本松市老人保健特別会計予算
平成22年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算
平成22年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算
平成22年度二本松市工業団地造成事業特別会計予算
平成22年度二本松市工業団地造成事業会計予算

建設水道常任委員会 審査報告

3月8日に付託された各議案は、3月11日から18日の5日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、鈴木利英委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 農道については、今後も市道に管理移管していくのか。

答 安達地区35路線、岩代地区3路線、東和地区14路線、計52路線で総延長40,553mの農道があり、今後も市道への管理移管を進めていく予定である。なお、市道に認定することにより、地方交付税の算定において、財政上有利となる。

問 平成22年度における道路照明の設置工事については、従来の蛍光灯の設置となるのか、それともLED照明の設置となるのか。

答 今後、新たな蛍光灯の設置は行わず、LED照明の設置を進めていくこととしており、平成22年度においては、LED照明20灯の設置を予定している。

問 佐勢ノ宮住宅団地造成事業における安達地方土地開発公社に対する支払金の返済期間については、どのようになっているか。

答 平成23年度の支払いで全額返済となる。



霞ヶ城公園内の第4駐車場トイレ改築工事の説明を受ける様子

3月定例会で建設水道常任委員会に付託された議案等

二本松市道路附属物駐車場条例制定について
市道路線の認定及び廃止について
平成21年度二本松市一般会計補正予算
平成21年度二本松市安達簡易水道事業特別会計補正予算
平成21年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算
平成21年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算
平成21年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算
平成21年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算
平成21年度二本松市水道事業会計補正予算
平成21年度二本松市下水道事業会計補正予算
平成22年度二本松市一般会計予算
平成22年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算
平成22年度二本松市安達簡易水道事業特別会計予算
平成22年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計予算
平成22年度二本松市東和簡易水道事業特別会計予算
平成22年度二本松市安達下水道事業特別会計予算
平成22年度二本松市岩代下水道事業特別会計予算
平成22年度二本松市宅地造成事業会計予算
平成22年度二本松市水道事業会計予算
平成22年度二本松市下水道事業会計予算

文教福祉常任委員会 審査報告

3月8日に付託された各議案は、3月11日から17日の5日間、詳細な審査が行われ、最終日の本会議で、安部匡俊委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告された審査の主な内容をお知らせします。

問 ブックスタート事業の内容は何か。

答 新生児に絵本1セット3冊程度で1,500円位のものを配布する。配布方法については、『こんにちは、赤ちゃん事業』による家庭訪問時に配布する方法や乳幼児健診時に配布することなどを考えており、今後関係者間でより良い方法を検討を行っていく。

問 新規事業の学力向上特別対策事業の具体的な取り組みについては何か。

答 百ます計算や算数のプリントを各学級に配布し活用してもらい、小学校5、6年生の児童全員には「漢字まるごとスキル」と「計算まるごとスキル」というものを配布する。

問 中学校費の学力向上特別対策事業では、小河勝氏の学習指導教材を利用するということであるが、具体的にどんなものか。

答 小学校では陰山英男先生のテキストを使っているが、その流れを活かせるものということで、陰山先生から推薦をいただいた小河先生のものにした。中身については、国語と数学の基礎的な問題であり、漢字を中心としたものと基礎的な計算のものである。

問 学校施設整備事業で、耐震補強工事費の学校別の明細内訳は。

答 管理委託料では、新殿小学校屋内運動場で約153万円。岳下小学校屋内運動場で約145万円。小浜小学校校舎で約570万円である。

工事費では、新殿小学校屋内運動場が約3,470万円。岳下小学校屋内運動場が約3,230万円。小浜小学校校舎が2億400万円である。



小浜小学校耐震補強工事の現地調査の様子

3月定例会で文教福祉常任委員会に付託された議案等

二本松市岩代総合文化ホール条例制定について

二本松市奨学資金給与条例を廃止する条例制定について

平成21年度二本松市一般会計補正予算

平成21年度二本松市介護保険特別会計補正予算

平成22年度二本松市一般会計予算

平成22年度二本松市介護保険特別会計予算

一般質問

市の明日を考える!

3月定例会の一般質問は、3月8日から11日の4日間にわたり16人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

〔発言順〕

佐藤 公伯

〔真誠会〕



○日本一の菊人形について
○街中活性化について

問

- ① ①前年度より増加した入場者の8割が無料入場者であり、入場者増を喜んで良いのか。
②市内観光施設の巡回バスの運行。
- ② ①商店の減少数は。
②街中の駐車禁止の解除は。



(第55回「二本松の菊人形」会場)

答

- ① ①昨年度より1705人の増加であり平成17年度からの減少に歯止めをかけたことは、菊栄会、市としても喜ばしい。
②街中観光賑い創出からも巡回バスの運行をバス運行会社に要望している。
- ② ①近年5年間で115事業所の減で、マイナス15.2%である。
②買い物客のための駐車禁止解除は、交通混雑の状況や歩行者の安全を考えると厳しい。必要な対策を協議検討する。

五十嵐 勝蔵

〔維新会〕



○雇用の確保について
○市税について

問

- ① ①市内の完全失業者数と求人倍率はどのようになっているか。
②雇用を確保する為の農業団体等を設立できないか。
- ② ①滞納繰越の原因をどのように分析されているか。
②経済不況から脱却するまでの期間固定資産税の軽減を検討できないか。

答

- ① ①1月末現在の月間有効求職者数は、学卒者を除き、2,202名、求人倍率は、0.27倍。
②農業関係団体の会議の中で、検討していただくことにしたい。
- ② ①個人市民税の滞納は、解雇無職による収入減、固定資産税は、経営不振、債務超過、倒産等。
②赤字決算を理由に、固定資産税を減免することは、法律上も認められておりませんので、現段階での減免等は難しいと考えております。

平 塚 與志一

[真 誠 会]



- ①二本松市の財政状況について
- ②新教育長の小学生・中学生教育方針について

問

- ① 本市の地方債残高はいくらか。また債務負担行為残高はいくらか。
- ② 二本松市の小学校・中学校学力は、全国学力テストの結果によりますと平均点以上であるとの報告は、前教育長よりお聞き致しております。教育は、もちろん学力だけではない事は承知致しております。前任者のT・T教育、朝の読書等一朝にできたとは思っておりません。教育行政をどのようにひっぱって行くのか熱い思いをお聞かせ下さい。

答

- ① 地方債残高は 合併時 290億
18年度 307億
20年度 300億
21年度 302億
債務負担行為残高21年度63億円余りです。市の公債費比率は20年度末で18.9%です。
- ② 教職員と保護者向けの教育講演会を開催し、教育の先進地視察を行い、補助教材を配布する。小中学生の学力向上を目指す。基礎的な生活習慣を身につけさせ、読み・書き・計算の反復を徹底させる。

平 栗 征 雄

[政策ネットワーク二本松]



- ①茶園地域の市営住宅建替えについて
- ②根柢山地域の開発について

問

- ① ①いつ頃建てたものですか。
②住人の年齢構成について
③高齢者用共同住宅的建物の建設に替えられないですか。
- ② ①開発面積について
②今後の進め方について
③内容の見直しについて



(根柢山地内)

答

- ① ①昭和30年度、31、32・・・と大変古い家屋です。
②60才以上が多い年代で61.2%となっています。
③駅南、下成田まちづくり協議会から見直しの要望もあり、ケア付き住宅等も併せて検討します。
- ② ①計画では41,400㎡です。
②文化財センター整備が不可能なら、他の用途への変更も含め早急の判断を要望していきます。
③県の判断を待ちます。現時点で見直しは考えていません。

佐 藤 源 市

[政策ネットワーク二本松]



- ①公共遊休施設（建物）の利活用と整備について
- ②新たな農業振興策の取組について

問

- ① 長年未使用の公共遊休施設（建物）についての、今後の利活用、処分及び整備について
- ② ①鳥獣害対策について
②国の第6次産業創出総合政策について

答

- ① 旧安達東高大平校舎は時間をかけて検討し統合小学校8ヶ所、他については公共施設への転用はしない。民間での利活用を基本に、積極的に譲渡や貸借を進め、不要な施設は撤去して更地として、土地の処分を含め利活用を図る。
- ② ①新年度よりイノシシ捕獲に対する報奨金制度（一頭2万円）を設ける。
②農林業者と食品関連事業者等の連携による商品開発、先端技術を導入し新たな産業起し、地域雇用の創出確保し所得向上を図る。

浅川 吉 寿

[政策ネットワーク二本松]



- 市公共事業の入札体制づくりについて
- 新学習指導要領について

問

- ① 公平な受注に向けた市公共事業入札制度の見直しは出来ないか。
- ② 新指導要領改正施行に向けた、教育長の教育ビジョンを示せ。



(将来を担う子供達)

答

- ① 3月から建設工事の手持ち件数を6件から3件とし、予定価格を引き上げ、最低制限価格も5.5%引き上げた。業者の地域貢献度についても4月から配点を加点する。
- ② 教育は「人づくり」と考えている。教員の指導力向上や学力向上はもとより、生徒指導の充実とともに子ども達の無限の可能性を引き出して行きたい。家庭においては、リズミカルな生活習慣の育成を支援するとともに、家庭学習の習慣化を図って行きたいと考えている。

小 林 均

[公 明 党]



- 子宮頸がんワクチン公費助成と検診無料クーポンについて
- コンビニ納税の実施について

問

- ① ①若い女性に多い子宮頸がんの予防ワクチンの公費助成について
- ② 乳がん・子宮頸がんの年齢別対象者と受診状況について
- ③ 昨年度との受診率の変化は。
- ④ がん検診受診率50%への取組は。
- ② ①税外収入等、納付課目の拡大は。
- ② ②納付できるコンビニのチェーン名と、店舗数は。
- ③ ③22年度の利用者見込み件数は。
- ④ ④導入に当たっての留意点は。
- ⑤ ⑤クレジットカードでの納付や電子納税などの動きへの見解は。

答

- ① ①国の検討結果を注視していく。
- ② ②子宮頸がん1,678人中264人受診、受診率15.7%、乳がん2,101人中433人受診、受診率20.6%である。
- ③ ③子宮頸がん検診で約230人の増加。乳がん検診で約260人の増加。
- ④ ④22年度もクーポン券を発行。
- ② ①市民要求の高まりを見て、検討。
- ② ②全国16社42,553店舗、市内ではセブンイレブンなど6社16店舗。
- ③ ③利用見込み件数は38,797件。
- ④ ④税額30万円以上は取扱えない。
- ⑤ ⑤現状では導入は考えていない。

高 橋 正 弘

[政策ネットワーク二本松]



- 行政組織見直しについて
- 明るい市役所について

問

- ① 今回の見直しで、支所が地域振興、産業建設課の2課で係長・職員を減少させても市民サービスを維持できるのか。
- ② 行政改革だけが断行され行政組織の大幅な変更の中で日本一親切で明るい市役所を作れるのか。

答

- ① 今回支所の組織を縮小することになるが、課、係の統合により横断的な協力体制を発揮するためであり、職員数については、業務実施のために必要な人数を確保していく。
- ② 行政組織の再編を含む行政改革は、市にとって避けられない大命題である。創意工夫をしながらサービス事業所として市民に喜ばれる日本一親切で明るい市役所を目指したい。

新 野 洋

[政策ネットワーク二本松]



- 22年度予算編成における人口減少対策について
- 観音丘陵遊歩道の部分整備と有効活用について

問

- ① 昨年12月に私が提言した、各部署横断の検討委員会の設置と、予算措置はどこまで検討されたのか。人口減少対策について若い職員も含め、各部署ごとに末端からの意見の吸い上げ、ボトムアップをすべきと思うが考えはあるのか。
- ② 観音丘陵のように市街地の真ん中に遊歩道がある都市は非常に珍しい。歴史的な史跡や歌碑が点在し山野草もある。部分的な整備をし、癒しの空間として有効活用を検討すべきではないか。

答

- ① 予算編成に当たり担当部署において検討を重ね、本年度庁内検討委員会を設置し、先進市視察研修等を実施する等、研究・検討を行い、対策を構築していく考えから、予算措置をした。全体の声を吸い上げる体制づくりを行う。
- ② 樹木の整理による眺望の確保。文学碑、記念碑の案内の整理。城址、史跡、市街地案内サイン整備。便益施設の補修整備を行い、見学、散策ルートとしての活用を今後検討していく。

本 多 勝 実

[市政刷新会議「未来」]



- 鳥取方式による市内グラウンドの芝生化推進について
- 岩代杉内地区多目的運動広場の利活用方針と経過について

問

- ① ①市内の保育所・幼稚園・小中学校の芝生化の計画はあるか。
②市内のグラウンド等の芝生化計画はあるか。
③県では22年度芝生化モデル校を公募する予定だが応募するのか。
- ② ①地域住民の意見はどのような形で何回行われたのか、公共施設のあり方検討委員会ではどのような検討が進められてきたのか。
②20年度末までに方向付けするとの事だったが、未だ決まっていない利活用方針決定の時期は。

答

- ① ①②保育所・幼稚園・小中学校・市内のグラウンドとも芝生化の計画は無い。
③条件が整う学校があれば応募の検討をしてみたい。
- ② ①公共施設のあり方検討委員会において、今後の利活用方針が決定されておらず、新たな利活用について地元協議は行っていない。
②地域住民の意見を伺いながら進めたいが、現在のところ利活用方針を定めていない。検討すべき重要事項と考えている。

斎 藤 康 晴

[市政刷新会議「未来」]



- 市長の政治姿勢について
- トップアスリート育成について

問

- ① ①市長が理想とする安達地方市町合併の進展は。
②国では道州制の議論が進んでいる。市内にある3校の県立高校等が市に移管されることが予想される。どのように対応するのか。
③移管されてからの検討では遅いのでは。
- ② ①トップアスリート育成計画は。
②トップアスリート育成施設について
③東和小・中に長距離選手育成プログラムを導入すべきでは。

答

- ① ①市長個人としては理想と考えるが、具体的な協議はしていない。
②具体的な検討はやっていない。
③道州制が実現するか不透明な状況で検討するのは時期尚早。
- ② ①具体的なトップアスリート育成計画はない。
②不足している認識であるが、施設整備について具体的な検討はしていない。今後の体育施設整備の検討の中で協議する。
③検討する。

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



○介護保険予防事業について
○教育の充実について

問

- ① ①介護予防事業は、費用対効果が明白でないと「事業仕分け」の対象になりましたが本市への影響は。
②社会福祉法人による利用者負担軽減制度の合併後の利用状況は。
- ② 就学援助制度は「義務教育は無償」とした憲法26条などの関係法に基づいて、小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助する制度。小中学生のいる家庭では誰でも申請できる就学援助制度を積極的に保護者に知らせる仕組みはできないか。

答

- ① ①予算要求縮減の判断が示されたが、国から予算配分減額の通知はなく本市の影響はない。
②平成17年度は3施設で利用者が35人、平成18年度は8施設で143人、平成19年度は9施設で151人、平成20年度は10施設で155人です。
- ② この度、保護者向けに「就学援助制度」のチラシを作成し、学校を通じて新入学オリエンテーション等の機会に配布している。今後も制度の周知を図り、進めたい。

中 沢 武 夫

[無 所 属]



○平成22年度建設部の主要施策について
○平成22年度一般会計予算について

問

- ① 平成22年度主要施策の概要で、建設部の事業が6億7,908万74円と、大きく減少した原因は何か。
- ② 平成22年度予算で、国は4.2パーセント増、県は3.1パーセント増となったのに対して、市は4.5パーセントも減少したのか。その原因は何か。

答

- ① 大型プロジェクト事業が完成したこと。道路の一時改良を終えたこと。公園等の整備を終えたこと。後年度事業を前倒し実施したこと。国庫補助事業の配分が減額されたこと等、市の財政状況を改善するためである。
- ② 東和小学校・川崎小学校の各学校建設事業や岩代文化体育施設整備事業、二本松駅前広場整備事業などの大型プロジェクト事業がほぼ終了したことが大きな要因であると考えている。

菅 野 明

[日本共産党二本松市議団]



○支所機能の充実について
○コミュニティバス等の運行について

問

- ① 行政組織の見直しで、新年度から支所体制の縮小や住民センターの職員配置も変わり、これで市民への行政サービスに応えられるのか。
- ② 岩代地域は10月運行予定だが、新殿・旭の住民から市の進め方に対する不満、心配の声が出ておりコンセンサスが得られているとは思えない。以下伺います。
① 岩代地区のスクールバスはそのまま継続すべきと考えるが。
② スクールバス廃止について教育委員会はどこまで議論したか。

答

- ① 支所は縮小になるが業務実施に必要な人数は確保する。住民センター・公民館の重要性は認識している。今後も従来どおりのサービスを提供していく。
- ② ①コミュニティバスのスクールバスの利用についても十分対応できるものと考えている。
② 教育委員会としては、子どもの通学が支障なくできれば、スクールバスに限らず路線バス、コミュニティバスでも良いと考えている。

齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- 下水道問題について
- 子ども手当について

問

- ① ① あだたら流域下水道の平成28年度県から市への移管(合併特例法で10年間は県が管理)についての市負担額と、県に対してどのような対応をするのか。
- ② 市単独公共下水道の見直しは。
- ② 財源として所得税、住民税の年少扶養控除の廃止(0歳～15歳)、特定扶養控除(16歳～18歳)の縮小に係る影響と、なんらかの手当てがない場合の他の制度への影響について

答

- ① ① 移管による市の負担額は、9億2,800万円。平成28年度から県の肩代わり償還額8千万円。移管は相当の財政負担となり、県の継続管理をもとめながら、財政負担が生じないよう協議したい。
- ② 建設事業費累計は133億円、全体の77%(平成20年度末)新たな区域の事業については、財政状況を見極め再検討したい。
- ② 概算で年少扶養控除8500人、特定扶養控除1900人。保育料値上げなど29項目に影響がある。

齋藤 賢一

[政策ネットワーク二本松]



- 人口減少の偏重是正の具体的対策は。
- 阿武隈川の増水時の内水対策は。

問

- ① 東和地区、岩代地区の人口減少率は10年間で20%となっている。支所機能、住民センターの改革は人口減少を助長するのでは。
- ② 阿武隈川増水時の樋門閉鎖時の内水対策はどこが担うのか。緊急対策として消防ポンプの活用はできないか。
- ③ 教育委員長の委員会運営について



(阿武隈川 安達ヶ原地内樋門)

答

- ① 長期総合計画に掲げる基本構想や基本計画に基づき、各種方策を確実に推進させる、また庁内検討委員会を設置し、人口増加対策に取り組む、住民センターの改革は推進する。
- ② 内水対策は市町村の事務であることからポンプ設置を検討する。また消防ポンプの活用についても検討したい。
- ③ 教育委員会は、教育の政治からの独立を目指したものであり、自主性を大切に運営したい。

議会の動き(1月～3月)

1. 13 行財政改革調査特別委員会
- 15 市議会だより編集委員会
- 21 議員協議会
2. 4 宮崎県宮崎市議会会派「公明党」行政視察受入れ
- 10 議会運営委員会
- 12 会派代表者会議
- " 平成22年第1回(2月)臨時市議会
- 16 まちづくり調査特別委員会
- 19 議員協議会
- " 会派代表者会議
- 26 議会運営委員会
- " 市議会だより編集委員会
3. 2 平成22年第2回(3月)定例市議会開会
- " 議会運営委員会
- " 議員協議会
- 15 議会運営委員会
- 23 平成22年第2回(3月)定例市議会閉会
- " 議員協議会
- 29 市議会だより編集委員会

可決された意見書

- ☆核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書
(衆議院・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣)
- ☆永住外国人の地方参政権付与の法制化に反対する意見書
(衆議院・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣・外務大臣)
- ☆選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正案に反対する意見書
(衆議院・参議院議長・内閣総理大臣・男女共同参画担当大臣・法務大臣)

会議録

会議録は本会議での一般質問等を、そのまま記録したもので、広く市民に会議の内容を明らかにすることを目的に作成されています。
ホームページで公開していますのでお気軽にご覧ください。

アドレス
<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/gikai/kaigiroku/kaigiroku-top.html>

政務調査費 このように使っています!

本市では、地方自治法及び条例等の規定に基づき、議会議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における会派に対し1人当たり月額1万円を政務調査費として交付しています。また、支出残額がある場合には、市に返還しています。平成21年度の各会派の政務調査費決算については次のとおりとなっています。

平成21年度 政務調査費決算一覧表

(単位:円)

会 派 名	政策ネット ワーク二本松	日本共産党 二本松市議団	公 明 党	中 沢 武 夫	真 誠 会	市政刷新会議 「未来」	維 新 会	計
結 成 年 月 日	H18. 7. 1	H18. 7. 1	H18. 7. 1	H20. 2. 8	H20. 9. 1	H21. 11. 1	H21. 12. 1	
会 派 構 成	渡辺平一 野地久夫 新野洋市 佐藤源雄 平栗征雄 浅川吉寿 斎藤賢一 鈴木隆俊 安部匡位 遠藤芳弘 高橋正弘 三浦一良 加藤和信 市川清純	斎藤広二 菅野明子 平 敏子	小林 均	中 沢 武 夫	平塚與志一 佐藤公伯 中田凉介 堀籠新一 佐藤 有仁 斎藤 徳仁	斎藤康晴 斎藤周一 鈴木利英 本多勝実	五十嵐勝蔵	30人
会派への交付額(A)	1,960,000	360,000	120,000	120,000	720,000	200,000	40,000	3,520,000
会派での支出合計(B) (自己負担額を含む全額)	1,986,494	360,360	130,300	62,814	743,100	210,280	40,242	3,533,590
研究研修費			115,305		186,600			301,905
調査旅費 (調査先等)	1,500,380 仙台市 夕張市 ひたちなか市					210,280 鳥取市		1,710,660
資料作成費	18,287			6,147			13,992	38,426
資料購入費		29,400	14,995	54,489			26,250	125,134
広報費	467,827	330,960			556,500			1,355,287
その他の経費				2,178				2,178
収支差引(A-B) (マイナスの場合は0)	0	0	0	57,186	0	0	0	57,186
市への返金額(C)	0	0	0	57,186	0	0	0	57,186

お知らせ

◎次回の定例会は6月中旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先

〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143(議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail:shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

編集後記……………

「春風や闘志いだきて丘に立つ」という私の大好きな高浜虚子の句があります。

寒い冬が過ぎ、暖かな季節の春は別れと出会いがあり、又、それぞれの旅立ちもあります。

編集委員会委員にとって2年間はあっという間で、今回の18号で編集最後となりました。

市民の皆様にとって、読みやすい「市議会だより」になりましたでしょうか。皆様に感謝しつつ、筆を置きます。

◆ 編集委員会 ◆

委員長	平 栗 征 雄
副委員長	遠 藤 芳 位
委 員	堀 籠 新 一
	佐 藤 有
	斎 藤 康 晴
	本 多 勝 実
	平 敏 子
	鈴 木 隆